# 社地区　地域づくり懇談会　　議事録

**１　日　時**　平成２６年７月４日（金）　１９：００～２０：００
**２　会　場**　社地区公民館
**３　出席者**　地元出席者　　２０名
市側出席者　　１６名
深澤市長、羽場副市長、田中企画推進部長、中村都市整備部次長、久野新市域振興監、高橋秘書課長
＜用瀬町総合支所＞砂場支所長、田中副支所長、金谷市民福祉課長、坂本産業建設課長、中村地域振興課課長補佐、寺﨑用瀬人権文化センター所長
＜事務局＞馬場協働推進課長（司会）、岡本協働推進課課長補佐、酒本協働推進課主任、田中協働推進課主事

**４「地域でのまちづくりの取組状況」についての報告**

（社地区公民館長）　※スクリーンに基づき説明

まず事業の紹介ですが、有害鳥獣被害防止柵の事業を行っております。この他にもいろいろ行っておりまして、火災報知機の斡旋も行っております。二百数十個の実績があります。

社地区として取り組んでいる有害鳥獣被害防止柵は、２５年度をもって終わりました。そもそもこの事業は、当然農作物の被害もありますけれども、平成２２年にクマによる死亡事故が発生したこともあって計画したものです。２２年の地域づくり懇談会でお願いしたところ２３年度に予算がつき、国と市から５／６の補助をいただき、残りの１／６を地元負担ということで行いました。

社地区には１６集落ありますけれども、そのうち１集落は、集落の後ろに高さ３０ｍくらいの崖があるため被害はないということで、１５集落で実施しました。当初の計画では、地図上で総距離が４２，０００ｍぐらいの計画をしておりましたけども、国道や高速道路、鉄道、川などがあるため、実際の設置距離は４０，０９６ｍになりました。設置量の多い集落では８，３００ｍ、少ないところは４６０ｍです。各集落によって有害鳥獣の守備範囲あるいは勢力範囲が異なるため、どうしても差が出ます。山口集落、家奥集落、屋住集落、江波集落、その奥までの柵です。柵とワイヤーメッシュは縦１ｍ横２ｍの特別バージョンで、下２段が１０ｃｍの細かい隙間になっております。枚数にしますと全部で２０，０４８枚です。また、杭は１３ｍｍの鉄筋ですけども、長さが１．５ｍです。これは、将来的にその上に電気柵なり有刺鉄線なりを設置できるようにということで、特注で制作していただいたものです。これの本数が２０，２７７本という莫大な数字です。「長杭」というのがワイヤーメッシュの間に補強で入れる１０ｍｍの鉄骨で、１ｍのものを２０，０４８本使用しました。また、結束線ワイヤーメッシュと杭を縛る１．６ｍｍの針金は一巻きがだいたい５ｋｍあるものを、１４１巻きしました。

重さにしますと、２０，０４８枚のワイヤーメッシュは約８０．２ｔです。それから１．５ｍの長い杭は１本が１．８ｋｇありますので、３６．５ｔです。１ｍの短い杭も１４ｔ

あります。結束線に至っては７００ｋｇと、かなりの重さです。

設置作業は大変で、１年目はなかなか上手くいきませんでした。初めの頃は、日曜日でも鳥獣対策の担当者さんが設置作業の指導に来てくださったり、一緒に現地を見ていただいたりして大変お世話になりました。３年間、雨の日も雪の日も来ていただきました。大変感謝しております。

次に、まちづくり協議会で取り組んでいる事業を紹介させていただきたいと思います。社の一大イベントである社区民運動会を、公民館の隣の広場で開催しています。当日は、小学生と中学生のボランティアが１８人来てくれました。準備、決勝、スタート、記録など、いろいろ役を持って積極的に携わってくれました。後で感想文を書いていただきましたけども、地元の高齢者とも一緒にできて大変楽しかったとか有意義だったとかいう、前向きのコメントが寄せられました。来年はこの役をしたいというような子もおりました。

運動会の他に「いきいき社むらまつり」という、公民館の建物１階から３階まですべてを使う大きなイベントを開催しています。

次に、農産物の販売です。社は百姓どころですけれども、自分の家では作ってない野菜もありまして、結構評判が良くてさっと売れるようです。その他にも木工製品とか、ＮＰＯ法人から出荷している雑貨とか、昨年は宝石も売りました。でも宝石は売れませんでしたね。それで、ついでに電池も持って来てもらいましたら、時計の電池交換はかなりあったようです。将来、公民館の１階がコミュニティの場として活用出来れば、農産物販売の発展型のイベントもまた計画したいなと頑張っているところです。

次は洗足山の整備活動です。用瀬町連山で三角山からこの洗足山まで山が連なっておりまして、最近の登山ブームでかなり登山者が多いようです。まちづくり協議会が発足当時から、「洗足山遊歩隊」というボランティア組織を作っておりまして、倒木を切ったりしております。また、登山道の道がどうしても崩れてきますので、杭を打って補強をします。

昨年の洗足山登山は、４５人ぐらいの参加がありました。集合写真を撮影したところの足元は、クマザサが密集しておりました。しかし、一昨年と去年で鹿が笹を全部食べてしまったために枯れてしまいました。山の高さは７４３ｍありますけれども、そこまで鹿が上がってきます。山の高さが変わってくるんじゃないかなとちょっと心配しているところです。登山の後は、地元の婦人会の方にご協力をお願いして「千賊鍋」を食べます。ちょっと小腹が空いているときに大変美味しいという評判です。今年もまた開催したいと思います。市長さんも、日程が取れましたらぜひ、一度上がってみていただきたいと思います。

次に、公民館改修後の活用策についてです。これからまた練っていきますけれども、１つの大きな目的でもある、公民館事務所と地区事務所を１階に下ろすということ、それからチャレンジショップとしてフリーマーケットをしたり、各種作品の展示および販売もしたいと考えています。公民館の隣に加工所がありまして、かなり立派な商品ができますので、販売の中にはそこで作った豆腐、味噌、漬物を入れたい。それから、介護用品も販売できたらと思います。それからいきいき社、いきいきバス停ということで、できれば１６集落を回るような乗り合いバスの運行もできたらと考えています。また、おしゃべりルームということで、公民館の１階が整備されれば土足厳禁で転んだり跳ねたりもできますので、保育園児との交流会とか、おしゃべり、囲碁、将棋や会食サービスの場の提供もできたらと思っています。今年度、高齢者を見守ろうということで「避難ネット」といういき

いきサロンのようなものが用瀬町の各集落にできます。それの発展版をここでできたらと考えております。それから用瀬町連山の１つである洗足山ガイドセンターや、セルフでコーヒーも設置できたらと思っておるところです。

以上、簡単ですが、これで説明を終わらせていただきたいと思います。ご静聴ありがとうございました。

**５　市政の課題等についての意見交換（フリートーク）**

（地元意見）

**この度、公民館の耐震工事と館内部の改修工事をやっていただけるということで本当にありがとうございます。毎度毎度お願いしているところですけれども、実は冷暖房器具は、昭和５６年の建設当時からあるもので大変古くなっています。ぜひこの度、改修と併せて産業用のエアコンでもつけていただいて、これから先みんなで楽しくやっていけるようにお願いしたいと思います。**

（企画推進部長）

耐震工事に附帯してのエアコン整備の要望ですが、設備の関係については２６年度の耐震化予算と一緒には上げておりません。２階の事務室を区切って１部屋を２部屋にするということですので、まずそのあたり、早急に必要となる所については来年度になると思いますが措置をさせていただきます。また、古い方も何とか年次的に対応できるよう、検討させていただきたいと思っております。

（地元意見）

**市長さん、選挙前の写真と比べてずいぶん実物の方がお若いということで、そういう意味で市政の若返りをぜひお願いしたいと思います。その一環になるか分かりませんが、今朝ほどから新聞、テレビ、全国版で盛んに言われている「すごい！鳥取市」。せっかくこれが全国でかなり話題になっているわけです。それで、市長さんはギターの弾き語りが非常にお上手と聞いています。テーマソングがもしなければ作っていただいて、そういうものを一緒に市長の弾き語りを流していただけるとさらに効果があるかと思います。よろしくご検討いただきたいと思います。**

（深澤市長）

本当にありがとうございます。今日は「すごい！鳥取市」の缶バッジをつけて、こちらに来させていただきました。今までは、それぞれの課とか部でいろんなＰＲをさせていただいておりましたが、これを鳥取市全体で何か効果的に、戦略的にできないかということで、この度初めての取り組みとして今日の正午からスタートさせていただいたところです。私たちも平素あまり意識しませんが、市外の方、県外の方からしますと鳥取にはいろんな素晴らしいもの、地域資源があると思います。それを改めて私たちが共通認識をしてそれを発信していこうということです。多くの皆さまにインターネットで検索をしていただいて、ご覧いただきたいと思っています。

また、市政の若返りをということでありますが、今年が合併１０年ですので、将来に向

けてまた新しい気持ちでスタートしていく、そういった年になると思っております。
　我々は、希望や夢、誇りや自信を持って、将来に向かって皆様と一緒に進んでいきたいという思いでおりますので、ぜひともよろしくお願い申し上げます。ギターのお話もちょっといただきましたが、私は、最近はちょっと練習不足であまり上手く弾けません。あるいはテーマソングということですが、私は歌があまり上手でないものですから、その分を楽器で補っておるところであります。また機会があればそういうことも考えてみたいと思っております。

（地元意見）
　私が住んでいる岡集落は安全安心なまちづくり、集落づくりということで、防災対策に積極的に取り組んでおりまして、年間１回は必ず、独自に防災訓練を実施する取り組みをやっております。ところが、集落内には消火栓が何ヵ所かありますが、これに対応したホースが１対１で設置されていない状況です。これではいざという時にあちこちのホースをかき集めている場合ではないだろう、というような意見が出たため行政にもお願いをしましたが、なかなかいい回答がきてないように聞いております。できたら、最低限の設置をお願いしたいです。

（深澤市長）
　従来は、自主防災会さんにいろいろな活動に取り組んでいただき、それに対する支援措置、支援制度があったわけでありますけども、私はこれをもう少し充実をさせていきたいと思っております。やはり地域防災力の要、中心となるのは自主防災会であり、地域の消防団の皆様であると思っております。こういった消防団や自主防災会に対しての支援措置について、もう少し充実を図っていきたいと思っております。その中で、ホースの更新といったことも各防災会の皆様からご要望をいただいておりますので、何とか対応できるような方法を考えてまいりたいと思います。

（地元意見）
　行政に避難場所として指定されているのは、この社地区公民館になっておりますが、どこの集落もここまで避難をするということは並大抵ではありません。また土砂災害なんかではもう流されてしまうというようなこともあります。行政サイドから、集落の高台に一時避難とか、とりあえずの避難場所を確保するような指導をしていただきたいと思います。岡集落は既にそういった場所は指定して、避難訓練の時もそちらへ逃げるように指導をしています。他の集落も含めて、ぜひそのような取り組みをお願いしたいと思います。

（深澤市長）
　何か災害が発生したときに、非常に遠くまでということは、確かに現実にはなかなか難しいと思います。
　特に高齢者の方や障がいのある方にとりましては、これは実際には難しいと思います。やはり身近なところに避難していただくということが必要でして、例えば水害などの場合は高台に避難していただくようなことも場合によっては必要だと思います。何よりも、平

素から自主防災会の皆様等を中心に災害に対する備えといいますか、訓練に取り組んでいただくということが非常に大切ではないかと思います。自助・共助・公助というのがありますが、やはり自助・共助がしっかりしているところは被害を最小限に食い止めることができるという例もあります。年１回は訓練を実施していただいているということでありますけども、ぜひとも引き続き取り組んでいただけるようにお願いしたいと思いますし、市内全域、全地区でそういったことも危機管理課を中心に、一緒になって取り組んでまいりたいと思います。

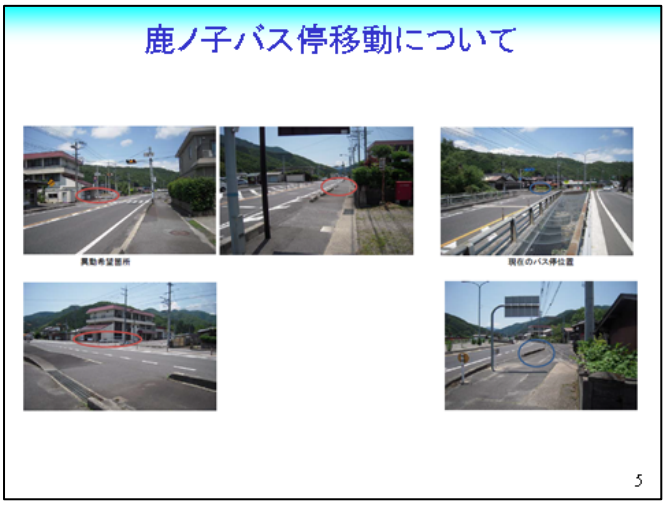
（地元意見）

バス停の変更ができるものだろうかというのをちょっと感じました。バスで通学している樟原の子どもは、樟原橋を渡り公民館の上手の横断歩道を渡って、さらに安蔵橋を渡った鹿子バス停まで歩いて行きます。横断歩道を渡ってすぐ、公民館の玄関辺りにバス停があれば安全かなと思ったりします。特に現在のバス停は、雨の日にはバス停の後ろの民家の門の中に座って待っています。よその家の門で子どもが朝から待っているという実状があるのです。ここなら公民館前ですので、どうにかならないかと感じます。智頭方面のバス停は公民館の向かいにあります。鳥取方面のバス停は鹿子のエリアにあります。もう１つ、江波方面に進むとすぐに江波線のバス停があります。江波線は日ノ丸バスに協力していただいているのか、だいたい家の近くで乗っています。このように、家の前で乗れる子どもと人の家の前で待つ子どもがいるのです。

安蔵橋は両側に分かれていて中央分離帯的な形で幅があります。そこに杭が打ってありますが､ちょっと杭を取ればバスが停まっても一般車は通れるのではないかなと思います。逆に鹿子の人からすると距離が遠くなるという感じはしますが、一般の人が乗るのを見ていると少ないので、どうにかなるかなと思ったりしています。

（都市整備部次長）

バス停の移動は不可能ではありませんが、条件がありまして、第一番が安全性です。特にここら辺りは国道沿いですので、バスの停車帯が必ず必要です。公民館の前に歩道が両側についております。歩道にバスが停まるということはまずできませんので、停車帯をつくるということになれば歩道を内側に、曲げることになります。歩道を内側にするとなると電柱が２つ、３つありますので、それについても対策を練らなくてはなりません。




それからもう１つの問題は、ここの入り口は保育園の送迎で車の出入りがあるということです。朝の７時から８時半までに智頭から鳥取に向かうバスが３本、用瀬から鳥取に向かうバスが３本あります。従いまして、ちょうど保育園の送り迎えと重なることになります。また、先ほどのお話にもあったように、かえ

ってバス停が遠くなる方もあります。そのあたりの集落の整合性というのもあろうかと思います。地域総意でということでしたらまったく考えないわけではありませんが、第一番に安全性ということをもう少し研究させていただきたいと思います。もちろん事業者の方、それからここは国道ですので国交省の方の認可もいただく手続きをしなければなりません。すぐに今日の場で分かりましたということにはちょっといかないような気がいたします。

（地元意見）

屋住集落はここから４ｋｍ、５ｋｍのところにあり、部落も３つに分かれています。今一番何が問題かというと、少子高齢化です。若い方も高校を卒業して働く頃まではおりますが、結婚するとほとんどの方が鳥取市内に出るという状況です。５０歳を超えた僕たちがまだまだ若い部類に入っており、何とか地元を元気にしていきたい、皆が屋住に住み続けてほしいという気持ちを持ちながら、集落の活性化をやっています。その中でも今、地域協議会というのを立ち上げて活動もしておるところですけど、市とか県からも応援をいただけたらなと思います。

（深澤市長）

これは社地区そして鳥取市全体の課題であると考えております。先般も２０４０年の人口推計等がありました。いろいろな取り組みをしないと人口減少が進んでいくぞ、という１つの警鐘でありまして、何とか若い方にこの鳥取市それぞれの集落に定着をしていただいて活躍をしていただく、このことが重要であると思っております。市や県として何とかその支援体制、応援体制をというようなお話をいただきました。従来からそうでありますけども、鳥取県の東部振興課という地域の活性化や中山間地域対策等を担当しておられる部署と一緒になって、今まで以上にいろいろな対策事業に共に取り組んでいこうというような話を、この５月にもしたところです。県とも今まで以上に一体となって、また地域の皆様とも一緒になって、取り組んでいきたいと思っております。

（地元意見）

屋住部落はとても雪が多いところです。山口や鹿子と比べると雪の量が全然違います。２年前の地域づくり懇談会でも、除雪機の増設をお願いしたら、担当部長さんが地区要望で上げてくださいよと言われました。すぐにでももらえるんかなと思って地区要望で出しましたができないと言われました。

（都市整備部次長）

前回の地域づくり懇談会で申請をしてくださいと申し上げたが、その後申請がないと報告を受けていました。できないという回答があったということですが、それについてはまた調べてみたいと思います。屋住の集落は、確かに非常に区分的に分かれているということはあります。そういうこともあり、屋住集落に対する除雪機に対しては、ある程度特例で見ております。持ち回りがなかなか難しいという話もあるとは思いますが、他集落の方も１台で持ち回りをしながら利用をしている状況です。原則１集落１つということになっておりますので、そういう判断だったのかもしれません。大変ご苦労をおかけしますが、

ご理解をよろしくお願いしたいと思います。

（地元意見）

屋住は交通手段がとても悪いです。夏場は自転車で通学している子も少しはおりますが、山道５ｋｍをなかなか自転車は厳しい道のりですし帰りも遅いということで、朝も帰りも保護者がほとんど送迎をしております。バスの時間が良くなったので中学生はわりと便利が良いですが、高校生は朝の７時２０分頃の汽車に乗るバスがありません。帰りもちょっと遅くなるともう乗るバスもないということで、バスの時間帯の見直しをお願いしたいと思います。

（都市整備部次長）

７時１６分因幡社発鳥取行きの列車に間に合うようなバスは、確かに現在のところありません。バスの時刻変更については、需要が多いということでしたら全く考えられない話ではありません。特に江波赤波線はご案内のように、以前は赤波と江波を往復するバスでしたが、今は用瀬循環線という言い方をしまして、いわゆる美成、家奥、奥家奥も行くようにしております。そういったことで、多少は本線の路線バスとは違う、融通の効くルートにしておりますから、ある程度の需要があるということでしたら、話し合わせていただきたいと思っております。

（地元意見）

新市域振興監がお見えですので、あえて伺いたいと思います。少子高齢いろいろ言われます。それと、過疎の問題というのは新市域全体の共通の課題だと思います。こういう懇談会が持たれたり、まち協がいろいろ苦労したりと、全市の６割以上の人口面積等も占める新市域においては、地域の振興が大きな目玉だと思います。

ですがその横断的な施策というかテーマというかいろいろ出てくる施策が、抽象論ばかりでちょっとよく分かりません。

もうちょっと具体的に、例えて申し上げれば耕作放棄地の一括借り上げの活用だとか、先般来智頭がやっている里山資本主義､それになぞったような間伐材の活用というような、何かそういう分かりやすくて取り組みやすい目玉の商品でもあればと。有害鳥獣の問題なんかも、里山が荒れる、裏山が荒れる、だから有害鳥獣がぞろぞろと出てくるというようなことがあります。例えば７０歳前ぐらいのまだ時間も金もあり、健康な人を活用してこの辺の里山の開発でもするとか、このあたりのもっと大きな横断的な施策というものがほしいかなという気がしております。

（新市域振興監）

特効薬はなかなかないと思っていますが、いろんな振興策を進めています。

今は県との連携で地域の魅力を高めていこうということで、先日も、三角山から洗足山まで１５人で歩かせてもらいました。現在、用瀬山系を売り出して地域の魅力アップを図っていきたいなとのことで、県と新市域振興監との間でいろんな話をしています。売り出すことによって外の人が入ってくる、そうすれば地域も元気になれると思います。

耕作放棄地の問題でも、この中山間の特に狭い土地を誰が耕すかとなったとき、農地の中間管理機構など国もいろいろシステムを作ってはおりますが、やはり地元の人に関わっていただかない限りは、なかなか難しいなと思っています。

もう１つ特効薬というわけではないですが、例えば佐治はいち早く過疎になっていますので、生き残り作戦を一生懸命やっています。特に農家民泊が進んでいまして、今約２０戸の世帯が、鳥取市内の１４の小学校と交流を始めています。このことが将来田舎に住みたいと思ってもらえる土壌になればと思っています。またこれも佐治の話になりますが、今年の夏から旅行会社とタイアップして、農家民泊を個人で受けるというような話も進んでいます。地域を挙げてそういったまとまりを作って外に売り出していく、ということが必要だと思います。中山間地域振興課に「輝く中山間地域創出モデル事業」という、最大２００万円の補助金制度があります。これは、防災の関係で岡集落が「やすらぐ田舎宣言」をされたりしましたが、地域を挙げて取り組んでもらうということが重要だと思っています。

また、総務省が平成２２年から進めている、都会から田舎に来てもらって若い人に住んでいただいて、地域をおこしてもらうという「地域おこし協力隊」で、佐治には４名男性が入ってこられました。佐治の皆様は大いに期待をされています。ですが、こういうものは地域の中で受け入れる土壌を作ってもらわないと、勝手に来て勝手に住めないわけです。ですから、佐治では地域を挙げて受入体制を作って進めています。ただ、実際には過疎の進行の方が早い現状があります。だから、皆様が住んでおられる中で頑張っていただくようになります。その中でいろんな相談をしていただいたり、いろんなことを話し合って住みよいまちを作っていただきたいと思います。

実際に何かこういうことをやるとか、こういった事業が必要だということであれば相談してください。今ある制度で対応できない場合は、市も県も中山間対策として、どんどん新しい制度も作ってきているところです。

**８　市長あいさつ**

それでは、一言お礼のご挨拶を申し上げたいと思います。非常に限られた時間ではありましたが熱心にご議論をいただき、また、さまざまなご提言ご質問をいただきましたことに対しまして、心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。この公民館の改修に際してエアコンについてもう少し考えていくべきではないかといったご意見、バス停やバスダイヤに関するご意見、また地域防災、除雪機の対応についてもご質問をいただきました。１つ１つできるところから取り組ませていただきたいと思っております。除雪機につきましては、集落に１台配置といったことを基準にしております。ただ、鳥取市は非常に広大な地域を有するまちになっておりまして、積雪量もそれぞれ地域で非常に異なっておるように思います。こういった１つの基準でこの事業を進めていくというのも１つの考えではありますけれども、その辺に何か工夫の余地がないのかどうか、もう少しこれは持ち帰ってまた検討をさせていただければと思っておるところであります。

限られた時間ではありましたが、今日いただいたご意見やご提言はしっかり持ち帰ってまた検討をさせていただきたいと思いますし、できるところから進めさせていただきたいというふうに思っております。洗足山の話もいただきました。三角山、洗足山、これは非

常に素晴らしいトレッキングコースであると思っておりますし、用瀬町は非常に歴史豊かな自然に恵まれた素晴らしい地域であるといつも思っております。こういった可能性を信じて、皆様と一緒に将来に向けてまちづくりをしっかりと進めてまいりたいと思っております。今日ご参加いただきましたことに重ねて感謝を申し上げまして、閉会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。今日は本当にありがとうございました。